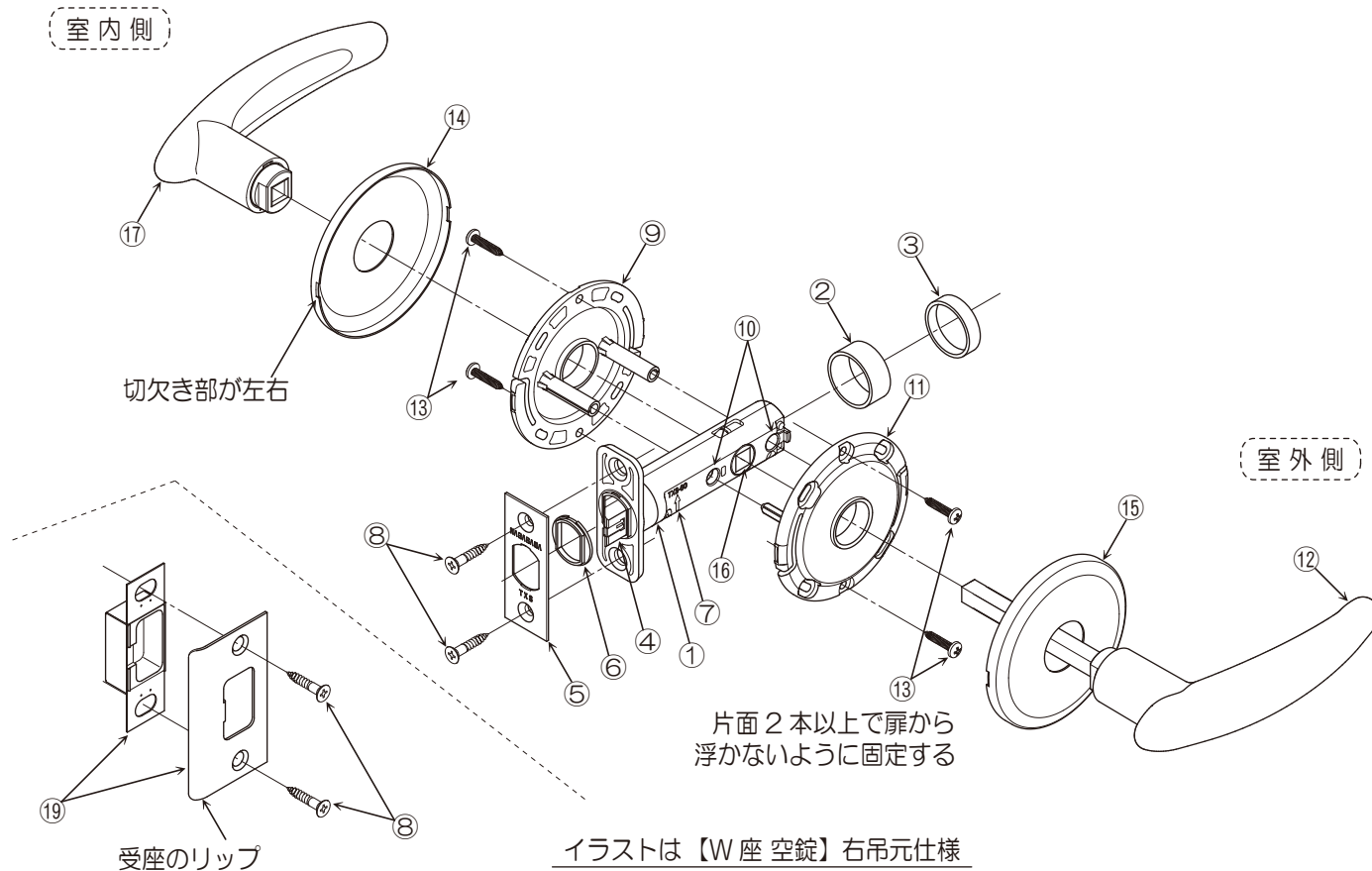


TOMFU シリーズ W 座【TXS 錠対応】レバー set 取付説明書

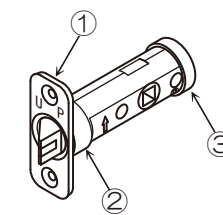
取付上の注意

※ 締め付けの際は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
ねじ穴の破損および錠・座本体などを傷めるおそれがあります。
※ 取付ねじ等は、しっかりと固定し飛び出しのないように取り付けてください。

7272000

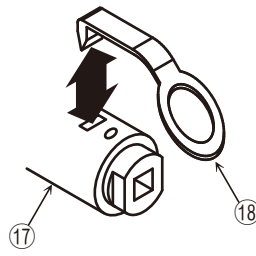


A: φ24 リングの取り付け方法



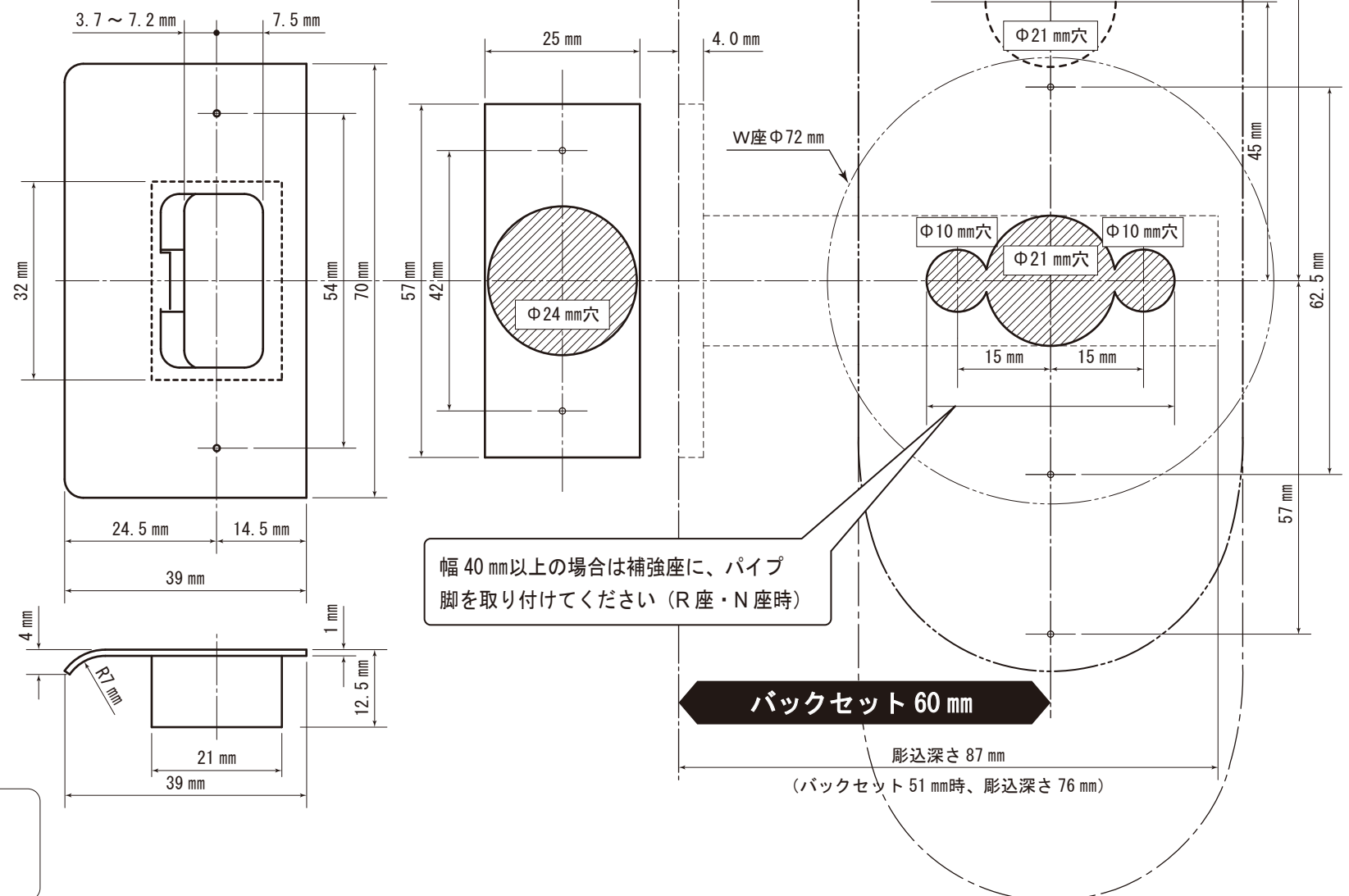
φ24 リング②は錠①の先端まできっちりセットし、φ24 リング③は錠①の後部にセットします。隙間がないように、はめ込みます。

C: ワンタッチレバーの取り外し方



解除ブッシュ⑱を図のようにレバーハンドル⑰裏面の穴に差し込んだ状態で角芯棒付レバーハンドル⑱を抜き取ります。

- A: 吊元の確認と錠の取り付け**
- 錠①の筒が入る扉の穴径がφ24 mmの時は、φ24 リング②③を錠に取り付けます。右上『A: φ24 リング取り付け方法』を参照し、取り付けてください。
 - 「左吊元」の場合は、錠①のラッチボルト④を廻してあわせてください。
 - フロント板⑤にラッチブッシュ⑥をセットします。
※ 25 mm幅フロント板を使用する時は、22.5 mm幅フロント板からラッチブッシュ⑥を外して取り付けます。
 - 錠①を矢印⑦を上向きにして、扉加工部に差し込みます。
 - 錠①とフロント板⑤をあわせて、固定ねじ⑧2本で取り付けます。
- B: 座の取り付け**
- 補強座室内側⑨の脚部を錠ガイド穴⑩に差し込みます。
 - 補強座室外側⑪の脚部を補強座室内側⑨の脚穴へ差し込みセットします。
※ 角芯棒付レバーハンドル⑫を仮セットし、錠が正常に作動することを確認してください。
 - 補強座の固定位置を確認し、補強座を固定ねじ⑬4～8本で取り付けます。
※ 補強座のねじ取り付け位置は、扉の切欠穴にあわせて選べます。扉から浮かないように取り付けてください。
 - 仮固定のレバーを外し、座カバー⑭⑮を嵌め込みます。
W座カバーの『切欠き部が左右』に注意してください。
- C: ワンタッチレバーの取り付け**
- 角芯棒付レバーハンドル⑫を錠角穴⑯に差し込みます。反対側レバーハンドル⑰をセットしてください。
※ ハンドルセットは、軽く差し込むだけで固定されます。強く押さえ過ぎると動きに支障がでることがあります。その時は右上『C: ワンタッチレバーの取り外し方』を参考にゆるめ、適正な位置にあわせてご使用ください。
- D: 受座の取り付け**
- 受座⑱は固定ねじ⑧2本で取り付けます。受座のリップの飛び出しに注意しながら取り付けます。



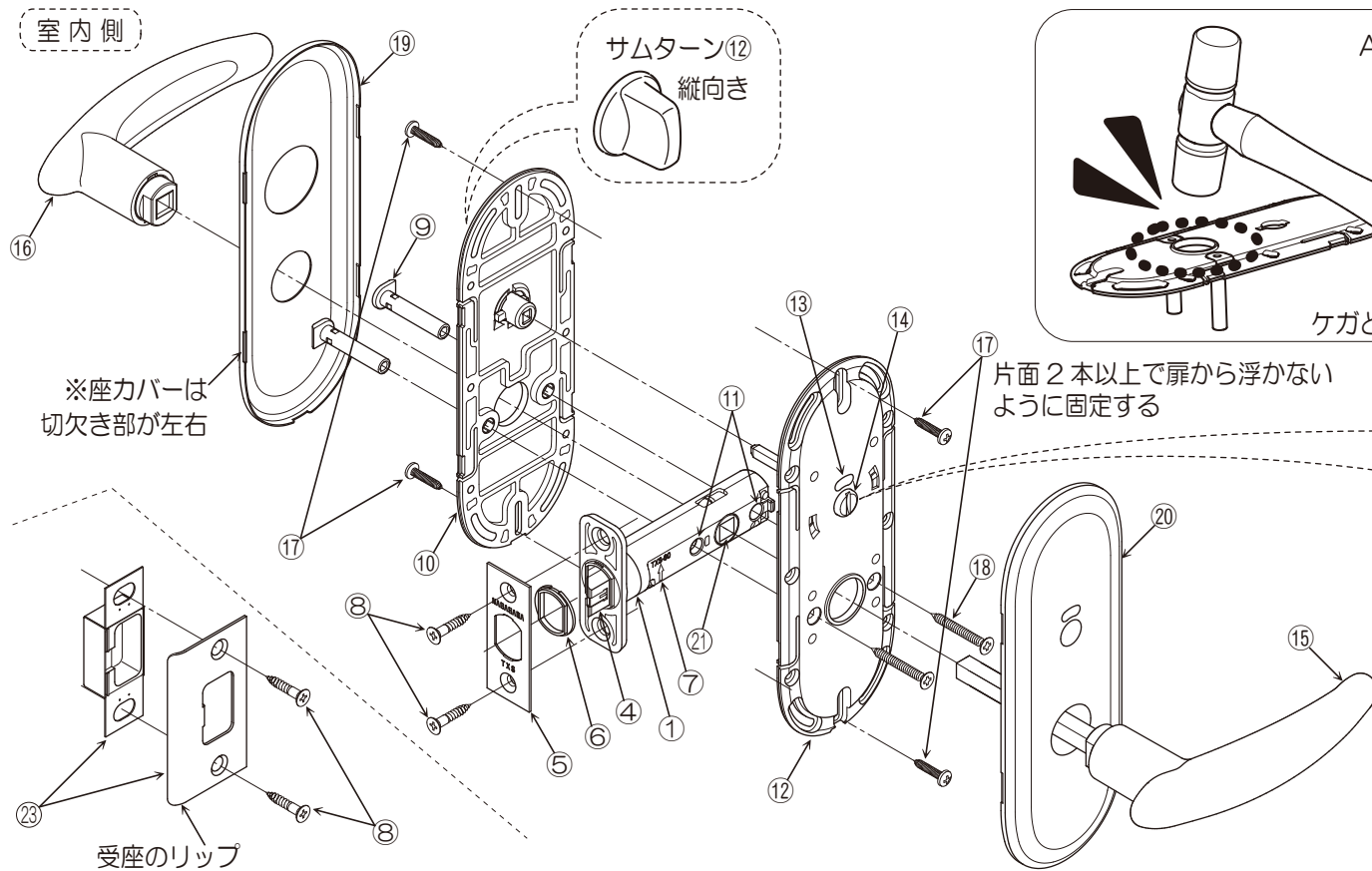
TOMFU シリーズ

R/N 座【TXS 錠対応】レバー set 取付説明書

取付上の注意

- ※ 締め付けの際は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。ねじ穴の破損および錠・座本体などを傷めるおそれがあります。
- ※ 取付ねじ等は、しっかりと固定し飛び出しのないように取り付けてください。

7272000



A: パイプ脚⑨の外し方

パイプ脚⑨の先を平らな面に置き、ゴムハンマー等で脚 2 本の間を叩きます。

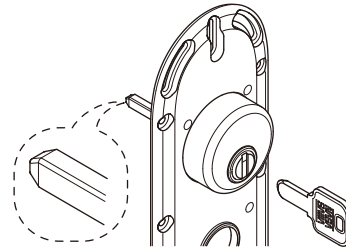
ケガと破損に注意してください。

キープラグの溝⑭



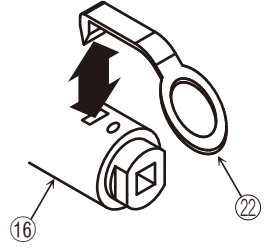
室外側

B: シリンダー付間仕切錠の取り付け時



錠を抜き取り
キープラグの向きが縦長になっているのを確認し室内側補強座⑩のサムターン⑫角穴にセットします。

C: ワンタッチレバーの取り外し方



解除プッシュ⑫を図のようにレバーハンドル⑬裏面の穴に差し込んだ状態で角芯棒付レバーハンドル⑮を抜き取ります。

イラストは【R 座 表示錠】右吊元仕様

- A: 吊元の確認と錠の取り付け
- 錠①の筒が入る扉の穴径がφ24 mmの時は、φ24 リング②③を錠に取り付けます（裏面の説明参照）。
 - 「左吊元」の場合は、錠①のラッチボルト④を廻してあわせてください。
 - フロント板⑤にラッチプッシュ⑥をセットします。
※ 25 mm幅フロント板を使用する時は、22.5 mm幅フロント板からラッチプッシュ⑥を外して取り付けます。
 - 錠①を矢印⑦を上向きにして、扉加工部に差し込みます。
 - 錠①とフロント板⑤をあわせて、固定ねじ⑧2 本で取り付けます。

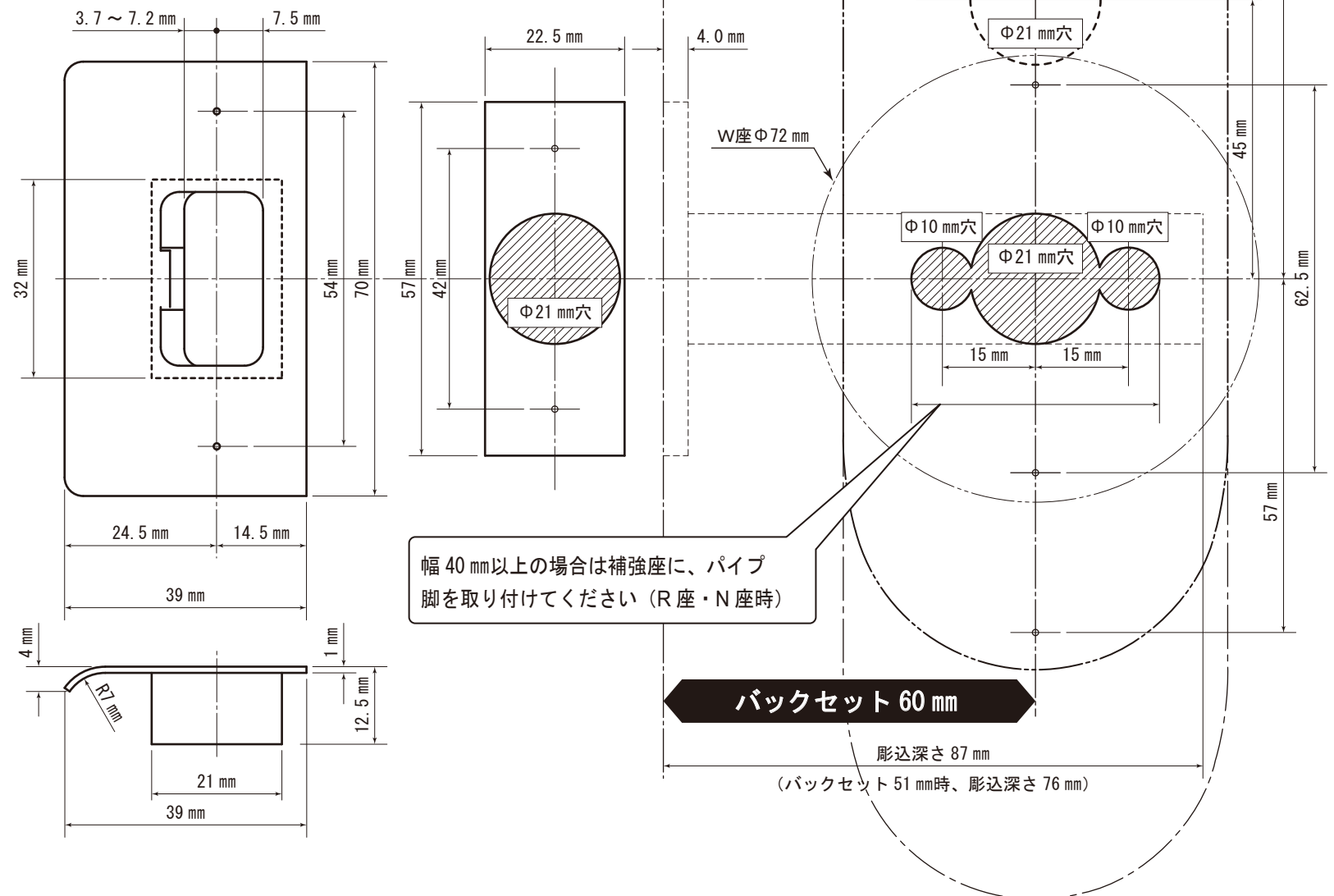
【パイプ脚⑨なし】本製品は、補強座⑩にパイプ脚⑨なしでも取り付けられます。既存金物からのお取り替え等で、既に切欠穴が開いており、切欠穴の幅が40 mm以下の場合ではパイプ脚⑨は不要です。パイプ脚⑨を誤って取り付けてしまった場合は、右上『A: パイプ脚⑨の外し方』を参考に、脚の先を机などの平らな面に置き、ゴムハンマー等でパイプ脚 2 本の間を叩くと外せます（ケガと破損に注意してください）。

【パイプ脚⑨あり】新規取付で本図通りの切欠穴を開ける場合は、パイプ脚⑨を取り付けます。部材の芯出しが容易になります。

- B: 座の取り付け
- 【パイプ脚⑨なし】1. 室内側補強座⑩を室内側にセットします（サムターンツマミ⑫は縦向き）。
- 【パイプ脚⑨あり】1. パイプ脚⑨を室内側補強座⑩の脚部にセットし、錠ガイド穴⑪に差し込みます（サムターンツマミ⑫は縦向き）。
- 室外側補強座⑫をセットします（表示錠の時、表示⑬は青、キープラグ溝⑭は縦向き。シリンダー付間仕切錠の時は右上『B: シリンダー付間仕切錠の取り付け時』を参考にセットしてください）。
※ 角芯棒付レバーハンドル⑮と反対側レバーハンドル⑯を仮セットし、錠が正常に作動することを確認してください。
 - 補強座の固定位置を確認し、補強座を、固定ねじ⑰4～8 本と、引張ねじ⑱2 本（パイプ脚⑨を使用しない場合は不要）で取り付けます。
※ 補強座固定ねじ⑰の取り付け位置は、扉の切欠穴に合わせて選べます。扉から浮かないように取り付けてください。
 - 仮固定のレバーを外し、座カバー⑲⑳を嵌め込みます。『切欠き部が左右』に注意してください。

- C: ワンタッチレバーの取り付け
- 角芯棒付レバーハンドル⑮を錠角穴部⑲に差し込みます。反対側レバーハンドル⑯をセットしてください。レバーハンドル⑮は、軽く差し込むだけで固定されます。強く押さえ過ぎると動きに支障がでることがあります。その時は右上『C: ワンタッチレバーの取り外し方』を参考にゆめ、適正な位置にあわせてご使用ください。

- D: 受座の取り付け
- 受座㉓は固定ねじ㉔2 本で取り付けます。受座のリップの飛び出しに注意しながら取り付けます。



切欠図
錠の筒が入る扉の穴径 φ21 mm

※ φ24 mm時は裏面参照

間仕切錠・表示錠・シリンダー付間仕切錠の場合 φ21 mm貫通穴を開けてください

幅 40 mm 以上の場合は補強座に、パイプ脚を取り付けてください（R 座・N 座時）

バックセット 60 mm

彫込深さ 87 mm

（バックセット 51 mm 時、彫込深さ 76 mm）